

全国高校「探究」キャンプ 2022 開催ゼミ一覧

時間：半日（13:00-16:00） もしくは 一日（10:00-12:00, 13:00-16:00）

日程	時間	ゼミタイトル	担当者名	専門領域
8/1	半日	Creative English / Japanese Translation 集中ゼミ	齋藤 一	英語圏文学
8/1	半日	一緒に考える不思議な言語学	文 昶允	言語学・音声学・音韻論
8/2	一日	ことばと文化ゼミ-探究のタネを育てよう	井出 里咲子	言語人類学、社会言語学
8/2	半日	コンゴでの性暴力と、わたしたちの政治的な思考	木山 幸輔	政治哲学・法哲学
8/3	半日	日本語の文法を考える	杉本 武	日本語学(文法論・意味論)
8/4	半日	デジタル民主主義の可能性	山本 英弘	政治社会学・政治学
8/4	半日	外国語文法の学習と習得：ヒトの言語能力とは	小野 雄一	第二言語習得論
8/5	一日	古文・漢文はこうよむ	谷口 孝介	和漢比較文学、菅原道真
8/6	半日	ことばあそびから日本語を考える	松崎 寛	言語学・音声学
8/8	一日	〈親ガチャ〉の社会学	土井 隆義	社会学
8/9	一日	民俗ってなんだろう—現代に生きる伝承—	徳丸 亜木	民俗学・伝承文化の研究
8/13	半日	哲学を遊ぼう！ ～みんなと話す+みんなを考える=哲学カフェ	五十嵐 沙千子	哲学・現代思想
8/14	一日	コロナ禍、戦争から考える平和	秋山 肇	平和研究・憲法・国際法
8/15	半日	ズバリ、「良い授業」ってなんなんだ。 ◆教員向けワークショップ	五十嵐 沙千子	哲学・現代思想
8/16	半日	ヒトはいつからヒトを殺すようになったのか？考古学や歴史学の切実性から	谷口 陽子	考古科学・保存科学

8/17	半日	International Development Issue in the contemporary global context	Mohammad Abdul Malek	Economics
8/18	半日	歴史的事実を探る東西思想の交流	井川 義次	中国哲学・比較哲学
8/19	半日	紫式部にファンレターを出そう	大倉 浩	日本語史(中世・近世の日本語研究)
8/21	半日	インド文化の幻想性	近藤 隼人	インド思想

全国高校「探究」キャンプ 2022

ゼミ紹介

8/1(月): Creative English / Japanese Translation 集中ゼミ

齋藤 一(英語圏文学)

比較文化学類の授業「専門英語Ⅱ-5」では、学生と一緒に、短歌や音楽を英語から日本語へ／日本語から英語へと「クリエイティブ」に翻訳しています。高校生のみなさんにも受講生に大人気のこの授業を体験してもらいます。例：Chaka Khan / Whitney Houston の名曲“I'm Every Woman”はどう訳すか？／「花曇り パスタを塩でゆでるのはパスタが泣いてもわからんように」をどう英語にする？

8/1(月): 一緒に考える不思議な言語学

文 昶允(ムン・チャンユン)(言語学・音声学・音韻論)

私たちが普段の生活で当たり前のように使っている日本語には、実は不思議さが潜んでいます。「50 音図は本当に 50 音？」「ジとヂ、ズとヅはどう発音する？」「リリパットとブロブ、どちらが大きい？」・・・これらのようなさまざまな言語学的問いについて、みんなで一緒に考えてみましょう。

8/2(火): ことばと文化ゼミー探究のタネを育てよう

井出 里咲子(言語人類学、社会言語学、ことばと文化)

筑波大学井出研究室(「ことばと文化ゼミ」)へようこそ。本ゼミは日常会話、SNS でのやりとり、外国語やことばが創る言説などなど、ことばって面白いと考える皆さんと共に創るゼミです。ゼミではグループワークをくり返しながらか(ゲームも!)、対話的に探究のタネを育みます。ことばや人間社会、文化に関する「なぜ」や「もやもや」を抱えて参加してみてください。

8/2(火): コンゴでの性暴力と、わたしたちの政治的な思考

木山 幸輔(政治哲学・法哲学)

スマホを使う、便利な生活。そういった日々の行動が持つ意味、それを問い直そうとしたノーベル賞受賞者に、性暴力被害者の支援をしてきたデニ・ムクウェゲ医師という方がいます。このゼミでは、そうしたつながりについて考えてみたいと思います。ゼミでは、講義やワークショップ方式、一部哲学対話の方式を用い、できるだけ柔らかに運営をできればと思っています。とはいえ、ゼミで性暴力が扱われることに、留意をお願いします。

8/3(水): 日本語の文法を考える

杉本 武(日本語学(文法論・意味論))

日本語の文法のトピックをいくつか選び、知識としてではなく、日本語の文法の仕組みを自ら考えて探り当てる。複数の教員でディスカッションしたのち、参加者にもディスカッションに加わってもらう。

(🍌事務局 M のオススメポイント🍌) このゼミは、杉本先生、沼田善子先生、矢澤真人先生という、日本を代表する 3 人の大国語学者の「かけあい」から始まります!! いったいどんな「かけあい」になるのか?? いったい何が話されるの

か??「文法」っていったい、どんな「ゲーム」なのか??? 国語学の大家とフラットなおしゃべりができる/大家同士の飾らない素顔のおしゃべりが聞ける/国語好きには見逃せないスペシャルなゼミです!!

8/4(木): デジタル民主主義の可能性

山本 英弘(政治社会学・政治学)

電子投票や電子政府など、デジタル技術をもちいた新しい民主政治が注目されています。これにより政治はどのように変わのでしょうか? 私たちの声はより政治に届きやすくなるのでしょうか? 政治がもっと身近なものになるのでしょうか? 具体的な事例も交えながら、デジタル民主主義のメリットとデメリットについて考えていきたいと思ます。

8/4(木): 外国語文法の学習と習得: ヒトの言語能力とは

小野 雄一(第二言語習得論)

英文法の学習に苦労している経験をお持ちではないでしょうか。単に暗記すれば良いものもありますが、そもそも習得自体が難しい、あるいはほとんど無理とされているような文法現象も多数存在します。本講座では、ヒトの言語知識・言語能力に焦点を当てて、どうしてある文法現象はなかなか習得が難しいのか、どのように取り組めば良いのか、などの疑問について、最近の第二言語習得研究の成果をもとに講義と演習を行って参ります。

(👉事務局 F のオススメポイント👉 英語苦手、という生徒は多いはず。実はワタシも苦手です。。でもなぜ苦手なのか?? 単に勉強が嫌いだから?? そうではないんですね。一生懸命勉強しても苦手な人っているんです。それには実はその人の「言語能力」の特性が関係していたとは!! じゃあその特性って?? このゼミでは、英語を学ぶときに「使える」奥の手がゲットできます。)

8/5(金): 古文・漢文はこうよむ

谷口 孝介(和漢比較文学、菅原道真)

高校国語の科目としての「古典(古文・漢文)」について、何を指標として学び・考えればよいのか、学習指導要領をも見据えつつ、言語活動の一環という立場から考えてみます。

(👉事務局 I のオススメポイント👉 谷口先生のご専門は「古事記」。でも谷口先生が一番「スゴイ」とおっしゃるのは「奥の細道」。で、その「奥の細道」にはいっぱい「ツクリバナシ」が挟まれてた…って知ってました~?? この夏のゼミでもいったいどんな面白いお話が聞けるかとっても楽しみなゼミです。ちなみに谷口先生は、筑波大学の人気コンテンツ「人社チャンネル!!」にも登場している、ニコニコ&めっちゃ面白い先生です。お楽しみに~)

8/6(土): ことばあそびから日本語を考える

松崎 寛(言語学・音声学)

「言語学」というと堅苦しい感じがしますが、「早口言葉は何故言いにくい?」「どうすれば嘸まずに発音できる?」「しりとりで絶対負けられない方法は?」等の身近な話題から、日本語のしくみや外国語の発音学習等、様々な「探究」の糸口が見えてきます。いっしょにことばの不思議を探究しましょう。

8/8(月): <親ガチャ>の社会学

土井 隆義(社会学)

昨年、親ガチャという言葉がネットでバズりました。この言葉には、社会的格差の深刻さに人びとの目を向けさせたという功とともに、その問題を家族の問題に矮小化してしまうという罪の側面もあります。この言葉が注目を浴びた社会

的背景とその克服の方法について、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

8/9(火): 民俗ってなんだろう—現代に生きる伝承—

徳丸 亜木(民俗学・伝承文化の研究)

このゼミでは、私たちの生活の中で継承される民俗や伝承文化について考えてみたいと思います。地域のまつりや家々の行事、アニメーションやコミックに描かれる妖怪や、ネット上に流れる怪異譚など、私たちの身近な生活の中に民俗や伝承は息づいています。その意味について具体的な事例を扱いながら、民俗とは、伝承とはなにかを一緒に考えて行きたいと思います。

8/13(水): 哲学を遊ぼう! ~みんなと話す+みんなで考える=哲学カフェ

五十嵐 沙千子(哲学・現代思想)

なぜ人を好きになるのか。なぜ人に褒められたいのか。なぜ嫌われることが怖いのか。なぜ美しくなりたいのか。なぜ生きていなければならないのか。社会ってなんだ。学校ってなんだ。家族って、友達ってなんだ。そして自分ってなんなんだ。それを考えるのが哲学。答はたぶんないけれど、きっとあなたが今いる場所の「ちょっと先」に歩いていけるはず。日本の知らない土地で生きている高校生と、まだ会ったことのない哲学者と、一緒に話す哲学カフェ。

8/14(日): コロナ禍、戦争から考える平和

秋山 肇(平和研究・憲法・国際法)

平和とは何でしょうか? どのように実現できるのでしょうか? 戦争に関するニュースが毎日のように流れる中で、この疑問を持つ方も多いと思います。ロシアによるウクライナ侵攻はもちろんのこと、コロナ禍における日本国内にもさまざまな平和問題があります。このゼミでは、身近な問題に引きつけつつ平和について考えてみたいと思います。思いのままをおしゃべりして考えましょう!

8/16(火): ヒトはいつからヒトを殺すようになったのか? 考古学や歴史学の切実性から

谷口 陽子(考古科学・保存科学)

ジンバブエやボスニアヘルツェゴビナ、ギリシアのように、歴史の切実性が国の成立に深くかかわっている国々があり、日本のように、「つくられた」言説のうえに歴史が作られた国もある。歴史の切実性を概観したあとで、日本列島の弥生時代の成立の問題を解説する。また、ヒトがヒトを殺す行為はいつから見られるのか、考古学的な事例から検証する。戦争の痕跡、スピリットウォーとシャーマンの問題から、ヒトは本当に時代とともに賢くなっているといえるのか、終戦の日にみんなで作りたい。

8/17(水): International Development Issue in the contemporary global context

Mohammad Abdul Malek

(Development and Agricultural Economics, South/Southeast Economics)

This lecture aims at introducing topics for debates in relation to international development issues in the contemporary global context. Such an introduction would be useful for the aspirant high school students who are still hesitant to

choose international studies for his/her future studies/career. The lecture will appreciate students' participation in a follow-up discussion and debates.

8/18(木): 歴史的事実に探る東西思想の交流

井川 義次(中国哲学・比較哲学)

国際交流が叫ばれる昨今、その実、思想、哲学、宗教の交流があったことを知る者は少ない。このゼミでは、13~19世紀に実際に存在したイエズス会宣教師を通じた中国・アジアの思想のヨーロッパへの流入とその与えた影響について考察する。

8/19(金): 紫式部にファンレターを出そう

大倉 浩(日本語史: 狂言を中心とした中世・近世の日本語の研究)

古文を読むだけでは物足りない、面白くないと思っている皆さん。自分で古文を書いてみませんか? 英語でも英作文の時間があるのですから、古文でも古文作文を試みましょう。どんなふうに行けば 1000 年前の日本人に通じるか考えることで、古文の違った面白さを発見できればよいと思っています。

(👉事務局 I のオススメポイント👉 「古文作文」てスゴイ。古文で作文するってできる? できる。大倉先生と一緒にできる。紫式部、読んでくれるかな。お返事くれるかな。いとおかし。今はこのくらいしか書けないけれど、このゼミが終わる頃にはきっと古文語を自由自在に操ってるんだもんねと思う私ガンバレ。)

8/21(日): インド文化の幻想性

近藤 隼人(インド思想)

「インド」と聞くと、みなさんどういうイメージが浮かぶでしょうか? カレー、ヨガ、カーストなどいろいろですが、人によっては、インドは「よくわからない国」「神秘の国」などのイメージを抱く人もいるかもしれません。このようなイメージは大方、西欧で生み出された「幻想」がその大部分を占めています。どのようにしてその「幻想」が創り出されたのか、インドの代表的文化を例にとりつつ考えていきたいと思います。

■教員向けワークショップ

8/15(月): ズバリ、「良い授業」ってなんなんだ。

五十嵐 沙千子(哲学/現代思想)

「個別最適化」「授業の探究化」ってなんなの? 本ワークショップでは、先生方が学校で日々直面している具体的で切実なテーマを取り上げて、自分の思いやモヤモヤを率直に共有し、「どうすれば生徒が授業を好きになるのか」「どうすれば良い授業が作れるのか」「どうすれば先生たちが心から楽しく働けるのか」「どうすれば学校が幸せの場所になるのか」をみんなで対話し、みんなで探します。目からウロコがポロポロ落ちると毎年大好評の「先生たちのカフェ」。今年も開催決定です!!